

シンポジウム・研究発表会

「役割・キャラクター・言語」

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/~kinsui/char-sympo-2009.htm>

役割語、最前線。

『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』で世に出た「役割語」は、定延らの「音声言語における発話キャラクタ」の研究をも受け、さらに研究の新段階へと進むとともに、教育、創作、メディア論等への影響も広がり始めた。このシンポジウムでは、論客・呉智英氏の基調講演を得て、役割語・発話キャラクタ研究最前線を示すと共に、その行方について討議を交していく。

主催

科学研究費補助金 基盤研究 (B)「役割語の理論的基盤に関する総合的研究」(課題番号:19320060、研究代表者:金水 敏 (大阪大学大学院文学研究科教授)、研究期間:平成 19～22 年度) (<http://www.let.osaka-u.ac.jp/~kinsui/yakuwarigo.htm>)

科学研究費 基盤研究 (A)「人物像に応じた音声文法」(課題番号:19202013、研究代表者:定延利之 (神戸大学国際文化学部教授)、研究期間:平成 19～22 年度) (<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/products/nihongo/character/index.html>)

連携

神戸大学大学院教育改革支援プログラム「文化情報リテラシーを駆使する専門家の養成」(<http://cil.cla.kobe-u.ac.jp/>)

日程・場所

2009 年 3 月 28 日 (土)～29 日 (日)

神戸大学百年記念館: 〒651-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 Tel 078-803-5294

アクセス

阪急「六甲駅」または JR「六甲道駅」下車。

神戸市バス 36 系統「鶴甲団地前」行「神大文・理・農学部前」下車。

(阪急「六甲駅」より徒歩約 20 分)

〈参加無料〉

どなたでも参加できますが、参加ご希望の方は、**3月10日**までに以下の情報を添えて、下記のメールアドレスにお申し込み下さい。

お名前・ご所属

28 日 研究発表会・講演・シンポジウム 参加・不参加

28 日 昼食 要・不要

28 日 懇親会 参加・不参加 (会費一般 4000 円 学生 2000 円)

29 日 研究発表会 参加・不参加

29 日 昼食 要・不要

(近辺に食事のできる場所はありません。お申し込みいただいた方の分を生協食堂で準備いたします)

メールアドレス: char_sympo_2009@yahoogroups.jp

プログラム

28日(土)

第1部：研究発表(1)

10:30-11:00

東雅人・伊藤怜菜・井村紗緒里・三好敏子(以上、大阪大学文学部)・金旻貞(大阪大学大学院文学研究科)「役割語演習報告」

11:00-11:30

依田恵美(大阪大学大学院文学研究科)「役割語としての片言日本語」

11:30-12:00

岡崎友子(就実大学人文学部准教授)・南侑里(就実大学人文学部)「役割語としての「幼児語」とその周辺」

(昼休み・受付)

第2部：講演・シンポジウム

13:00

開会の辞：定延利之(神戸大学大学院国際文化学研究科教授)

基調講演(1)

13:10-14:10

呉智英(評論家・日本マンガ学会会長)「マンガと類型化—役割語などを巡って—」

基調講演(2)

14:20-15:20

金水敏(大阪大学大学院文学研究科)「役割・キャラクター・言語をめぐって」

シンポジウム

15:30-17:30

「メディア・教育と役割語・発話キャラクター」
金水敏(司会)、阿藤智恵(劇作家・演出家)、太田眞希恵(NHK放送文化研究所研究員)、恩塚千代(日本語教育)、鄭惠先(長崎外国語大学外国語学部准教授)、本浜秀彦(沖縄キリスト教学院大学准教授)

18:00-20:00

懇親会

29日(日)

第3部：研究発表(2)・ポスターセッション

10:00-10:45

金田純平(神戸大学国際文化学部特命助教)「役割語からみた文末詞対照」(仮題)

10:45-11:30

金水敏・池田貴子(大阪大学大学院文学研究科)「ピジン日本語と中国人像の変遷」

11:40-12:40

ポスターセッション

(昼休み)

第4部：研究発表(3)

13:00-13:45

細川裕史(学習院大学・日本学術振興会特別研究員-PD)「ドイツ語に『役割語』は存在しうるのか？」

14:00-14:45

西田隆政(甲南女子大学文学部教授)「役割語としてのツンデレ表現—「常用性」の有無に着目して—」

14:45-15:30

富樫純一(大東文化大学文学部専任講師)「ツンデレ属性と言語表現の関係—ツンデレ表現ケーススタディー—」

(休憩)

15:45-16:45

定延利之「キャラクターは文法をどこまで変えるか？」

16:45-17:00

コメント 杉藤美代子(音声言語研究所所長)、藤村靖(オハイオ州立大学名誉教授)

17:00

閉会の辞：金水敏